質　問　表　A

＊グループ申請の場合、この質問表は生産者ごとに記載し、提出してください。個人申請の場合は、申請者が記載します。

生産者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

日本有機農業生産団体中央会
電話 03-5812-8055 ﾌｧｯｸｽ 03-5812-7370

この質問表にもとづいて、書類審査を行います。記入された項目について、現地検査で内容の確認を行います。

Ⅰ、経営における有機農産物の位置

１、あなたの農業生産は有機農産物のみですか、他の栽培方法との並行ですか。該当項目に○。

イ、すべて有機農産物
ロ、有機農産物と特別栽培農産物の並行生産
ハ、有機農産物と慣行栽培農産物の並行生産
ニ、有機農産物、特別栽培農産物、慣行栽培農産物の並行生産

２、それぞれの作付け面積は、どのくらいですか。面積を記入してください。

経営総面積　　㌃
（内訳）　有機栽培圃場面積　　㌃
（内有機申請圃場面積　　㌃　）
特別栽培圃場面積　　㌃
慣行栽培圃場面積　　㌃
休耕圃場面積　　㌃

Ⅱ、生産施設（該当する項目に○をつけてください）

１、圃場名や栽培区分等を書いた圃場看板などで圃場の特定はされていますか。
はい　　いいえ
２、周辺圃場からの農薬の飛来防止処置はどうしていますか。
イ、周辺からの飛来の心配のない場所である

ロ、有機中央会の生産基準に定める緩衝帯をもうけている
ハ、その他（　　）
＊緩衝帯とは
　隣の慣行栽培圃場から農薬などの飛散を受けるため作物を有機としては扱わないようにするエリア。このことによって有機圃場から使用禁止資材の影響を除外する。

３、周辺圃場からの化学肥料や土壌の流入防止対策はどうしていますか。
イ、心配のない場所である
ロ、有機中央会の生産基準に定める緩衝帯もしくは防止処置をもうけている
ハ、その他（　　）
４、地域で空中散布が行われていますか。
いる　　いない
＊いる場合、圃場に一番近づく距離を記入してください。　　ｋｍ
５、水田の用水についてお答えください（水稲と畑作の２毛作を含む）
イ、入水路と排水路が区分されており慣行栽培圃場等の汚染水の流入の心配ない
ロ、水口に天然の吸着剤などを使用し、一定浄化した水を使用している
ハ、入水路と排水路は分かれていない。特別の対策はとっていない。
ニ、用水と排水が共用の水路のため、浄化水田（区画）を経由させた用水を使用している。

Ⅲ、種子及び苗の入手について

１、種子は購入ですか、自家採取ですか（複数の場合は、複数に○）
イ、有機栽培圃場から自家採取している　　ロ、購入種子を使用している
ハ、自家採取であるが特に有機栽培圃場に特定せず、その年の良いところから種子として使用
２、購入している種子は、どんなものですか（購入の場合）。
イ、有機農産物由来　　ロ、慣行栽培由来であるが農薬等の処理はされていないものである
ハ、慣行栽培由来で農薬等により処理されている。　二、処理されているが加熱殺菌である
ホ、確認していない
３、慣行・特別栽培由来の種子を選んだ場合、その理由
イ、有機のものがなかった　ロ、有機のものは品種として不適切だった
ハ、有機のものは高くて利用できない
４、苗は自家育苗ですか、購入ですか
イ、自分で有機管理により育てている　ロ、購入している　　ハ、育苗は外注委託している
５、購入苗の場合は、どんな苗ですか
イ、有機管理で育てられた苗である　　ロ、農薬や化学肥料も使用されて育苗された苗である
６、育苗を外注委託している場合について回答してください
イ、外注先との契約はつくられていますか　　（　はい　　いいえ）
ロ、外注先では有機管理を実施していますか　（　はい　　いいえ）
ハ、外注先の育苗場所は、周辺から禁止物質が飛来・流入しないような防止処置は取られています

か　　（　はい　　いいえ）

５、購入した種苗の遺伝子組み換え技術について

イ、遺伝子組み換え技術を使用していないことを確認している

ロ、商業生産されていない種類の種苗なので、確認はしていない

ロの場合、種苗メーカーを記載してください

購入種子の種類	種苗メーカー

Ⅳ、育苗管理（自分もしくは方法などを指定して育苗している場合）

１、種子処理はどうしていますか（自分で行っていることについて回答ください）

イ、購入したものに特になにもしていない　　ロ、温熱処理をしている　　ハ、殺菌剤を使用

（殺菌剤使用の場合は薬剤名　　）

２、育苗はどこで行っていますか。

イ、有機認証を申請した自分の圃場で　　ロ、育苗ハウス等の育苗施設で

ハ、その他（　　）

３、床土（苗・床土）はどうしていますか（該当する事項にすべて○）

イ、自分で材料を集めて作っている（一部山土の購入などを含む）

ロ、完成した培土を購入して使用している

４、床土を自分で作っている場合

4.1　土はどのようにしていますか（該当するものすべてに○）

イ、未耕作地から採取した土を使用している

ロ、近隣の林内の土を採取

ハ、山土を購入している

ニ、土は使用しない

4.2　肥料成分及び用土以外の資材はどのようにしていますか（該当するものすべてに○）

イ、米ぬかなどを活用している

ハ、近隣の林内の落ち葉、腐葉土などを集めて使用

ニ、自家製のたい肥を熟成させて使用

ホ、別表１にある各種の資材を購入調達して使用

4.3　購入した土の処理

イ、熱を使った殺菌処理をしている

ロ、農薬を使って殺菌などの処理をしている

（薬剤名　　・メーカー　　）

ハ、その他（　　）

ニ、購入したものの処理を行っていない

５、育苗の用土を自分で採取している場合

イ、採取場所は、禁止物質の飛来・流入を防止できていますか

（防止できている　　確認できていない　　防止できていない）

６、育苗用の山土などを購入している場合

イ、採取場所の確認はできていますか（購入先から提出された書面などでの場所の確認）

（　確認している　　いない　）

ロ、採取場所は、禁止物質の飛来・流入を防止できていますか（購入された書面で確認）

（防止できている　　いない　　わからない）

ハ、採取後も化学合成物質の添加や化学処理がされていないことを確認できていますか（書面にて）

（確認できている　　いない）

ニ、購入先から書面の入手

（入手できている　　いない）

７．完成した培土を購入している場合

イ、有機農産物ＪＡＳ規格の育苗の条件に適合していることを確認できる書面を入手している

ロ、有機農産物ＪＡＳ規格の育苗の条件に適合していることを口頭で聞いている

Ⅴ、土作り及び肥培管理

１、自家製造堆肥についてご記入ください

主な原料	およその割合	原料こだわり特記事項	原料調達先	調達先電話

調達先が裏山の落ち葉なら、調達先「裏山」とし電話必要なし。養豚家なら名前と電話を記入

（ａ）堆肥製造施設（置場）の構造

１、堆肥舎に屋根あり　　２、コンクリート床に屋根無し　　３、野積み

（ｂ）仕上がりまでの切り返し回数　　回

（ｃ）仕上がりまでの期間　　ヶ月

（ｄ）製造方法についてのこだわり特記事項

（ｅ）利用方法についてのこだわり特記事項

２、購入資材について（使用している肥料・土壌改良資材などをご記入ください）

購入資材名	主な原料	使用目的	購入先	購入先電話

購入資材については、パンフレットなど内容のわかるものを添付してください。

３、緑肥作物の導入について、あなたの考え方や工夫がありましたらご記入ください。

４、輪作について、あなたのお考えや工夫についてご記入ください。

５、土壌殺菌（行っていること全部に○をつけてください）

イ、おこなわない　　ロ、加熱処理　　ハ、水洗い

ニ、薬剤の使用（薬剤名　　）

ホ、その他（　　）

Ⅵ、病害虫対策

１、発生しやすい病気とそれに対してとっている対策をご記入ください

発生しやすい病気	①	②	③	④
とっている対策				

２、発生しやすい害虫とそれに対する対策をご記入ください

発生しやすい害虫	①	②	③	④
とっている対策				

３、あなたが特別に工夫する病害虫対策の特記事項

４、病害虫対策のために購入している資材

購入資材名	主な原料	使用目的	購入先	購入先電話

購入資材については、パンフレットなど内容のわかるものを添付してください。

Ⅶ、雑草対策

１、除草剤を使用していますか。

はい（薬剤名　　）　　いいえ

２、あなたの行っている除草対策は、教えてください（やっていること全部に〇をつけてください）

イ、手取り除草　ロ、中耕　ハ、雑草マルチ　ニ、藁マルチ　ホ、ビニールマルチ　ヘ、火炎除草

ト、深水管理　チ、２回とろかき　リ、除草機　ル、かも　ヌ、鯉　オ、米ぬか除草

ワ、その他

（　　）

Ⅷ、収穫、選別、洗浄、貯蔵、包装、出荷などの作業

１、圃場から作業場までの収穫物搬入に使用するコンテナ等容器は有機専用ですか。

イ、専用　　ロ、慣行・特別栽培と併用

２、慣行・特別栽培と併用の場合、どのような処置をとっていますか。

イ、有機に使用する前に洗浄している　　ロ、特別のことはやっていない

３、収穫物の一時保管、荷造りなど作業場は、有機専用ですか。

イ、専用　　ロ、慣行・特別栽培と併用

４、慣行・特別栽培と併用の場合、どのように作業を区分していますか。

イ、作業の日付や時間をわけて行っている　　ロ、作業場内で場所を区分している

ハ、特別のことはやっていない

ニ、その他（　　）

５、包装用の袋など包装資材に塩化ビニル製のものは、使われていますか。

使われている（資材　　）　　いない

わからない

６、出荷の輸送

イ、運送会社・集荷業者などが農場から引き取り　　ロ、集荷センター・市場などに自分で搬入

７、出荷担当者

イ、特定の担当者がいる　　ロ、特定していない

８、選別、貯蔵、包装などを行う作業場の防虫・防鼠対策

イ、特別に必要ない　　ロ、機械的な方法でおこなっている　　ハ、薬剤を使用している

９、薬剤を使用している場合に回答してください。

薬剤名とメーカー

薬剤が有機農産物を汚染しないようにとっている処置（　　）

IX、生産に使用している水、灌漑設備

１、生産圃場に灌漑設備はあるか

イ、ある　　ロ、ないので天水に頼っている

２、潅漑用水の水源は

イ、河川の流水　　ロ、地下水　　ハ、水道水

３、作物の洗浄などに使用している水は

イ、河川の流水　　ロ、地下水　　ハ、水道水

４、灌漑設備の維持、内部消毒などのために薬剤を使用することがありますか

イ、ありません　ロ、薬剤を使用することがある

（薬剤名とメーカー　　）

X、生産に使用する機械・機具

１、使用している機械・機具について記入してください。

前日作業後に洗浄し有機を一番にする場合は「いる」を選択してください。

選果、洗浄、包装、出荷などに使う機械・機具・車両も含めてください。

機械・機具の種類	有機専用か、他との併用か	有機と慣行・特別栽培併用の場合、有機の作業前に洗浄・清掃されているか
	専用　　併用	いる　　いない
	専用　　併用	いる　　いない
	専用　　併用	いる　　いない
	専用　　併用	いる　　いない
	専用　　併用	いる　　いない
	専用　　併用	いる　　いない
	専用　　併用	いる　　いない
	専用　　併用	いる　　いない
	専用　　併用	いる　　いない

ＸＩ、米の調製、精米、保管（米、麦など申請者が記入）

１、調製

イ、農場内でおこなっている　　ロ、農場外の共同施設で行っている

２、調製の施設並びに機械機具

イ、有機専用　　ロ、慣行・特別栽培と併用

３、保管

イ、農場内の有機専用の倉庫に保管　　ロ、農場内の併用倉庫に保管　　ハ、農場外の共同保管倉庫で有機専用　　ニ、農場外の共同保管倉庫で併用

４、併用倉庫に保管している場合、どういう置き方をしていますか。

イ、区画をわけてなおかつ表示をして置いている　　ロ、区画をわけておいているだけ

ニ、特に区分していない　　ホ、その他（　　）

５、精米（自家消費用の精米は関係ありません）

イ、精米はおこなっていない　　ロ、精米を行っている

６、精米を行っている場合にご記入ください。

イ、精米設備は有機専用　　ロ、慣行・特別栽培米と併用

ハ、精米しているのは自分の米だけ　　ニ、他人のお米も引き受けている

ハ、共同施設になっている

ＸＩＩ、荒茶加工（お茶の申請者のみ記入）

１、荒茶加工の場所

イ、農場内の自己施設　　ロ、農場外の共同施設　　ハ、農協などの施設に委託

４、専用、併用の別

イ、有機の専用施設　　ロ、慣行・特栽との併用施設

５、施設での取り扱い（併用の場合お答えください）

イ、有機が多い　　ロ、有機とそうでないのが半々くらい　　ハ、慣行・特栽が多い

６、施設の規模（荒茶の生産量と建築延べ面積でお答えください。認証の資料ではなく検査計画のためですので、おおよそでけっこうです）

年間の荒茶生産量　　トン　　荒茶工場の床面積　　㎡

ＸⅢ、廃棄物の処理

１、廃棄資材の処理（ビニール、肥料袋その他）は、どうしていますか（回答は複数でかまいません）

イ、できるだけ再利用し、廃棄物を少なくするように心がけている

ロ、廃棄資材は、専門の業者（農協含む）に委託し処理している

ハ、農場の片隅などにまとめて置いているだけである。

ニ、農場内にしっかり隔離保管している。

ホ、農場で焼却処分している

ヘ、その他（　　）

２、農機具の廃油の処理は、どうしていますか。

イ、専門の業者に委託し処理している

ロ、農場施設の廃油ストーブなどで利用している

ハ、廃棄物といっしょに焼却処分している

ニ、その他（　　）

３．農薬の空き容器の処理（有機ではなく並行生産で農薬を使用する場合）

イ、ＪＡや自治体による地域の回収などに出している

ロ、産業廃棄物として専門の処理事業者に委託して処理している

ハ、自治体の一般ごみといっしょに出している

ニ、焼却処分している

ホ、その他（　　）

ＸⅣ、農薬の保管管理

有機の別表２の農薬及び並行生産で一般農薬を使用し、農薬を所持している場合にお答えください。

１．隔離保管の実施

イ、農薬は専用の保管庫などに保管している

ロ、農薬の保管場所を特定しているが、特に保管庫などに入れてはいない

ハ、使いやすい場所においている

ニ、その他

２．在庫管理の実施

イ、農薬は受払記録をつけて管理している

ロ、シーズンが終わったところで整理し、在庫を確認、記録している

ハ、購入する際に在庫を確認しているが、特に記録はつけていない

二、在庫の管理は実施していない

３．期限切れ農薬の管理

イ、有効期限の切れた農薬は別に記録し管理、使用できるのものは使用し、使用できないものはＪＡの回収や農薬販売店に依頼し、処理している。

ロ、発生しないようにしているので、期限切れ農薬はない。

ハ、あるかどうかわからない

二、その他（　　）

質　問　表　B

各項目ともいくつ選択してもかまいません。

生産者名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

特定非営利活動法人
日本有機農業生産団体中央会

１、有機農業を始めた動機を下記の項目から選択してください

- 自分の信念または宗教上の理由から
- 環境と調和した農業を目指すため
- 自然と共生、循環的な農業を目指すため
- まわりで農薬害を経験したから
- 化学肥料で栽培上のトラブルを経験したから
- 土壌微生物の働きを知ったから
- 地力の維持・向上策を考えた結果
- 持続的な農業を考えた結果
- 良品を多収できる農業として
- 面白い（興味ある）資材に出会った
- 近くで実践している圃場の良い作物を見て
- 近くに良い先輩・仲間がいたから
- その他

（　　）

２、農薬について、使用しない理由を下記の項目から選んでください。

- 農薬を絶対に使用しないという信念をもっている
- 自分や家族に農薬の被害があった経験から
- 書物や文書から農薬の怖さを知ったから
- 地力をあげ土壌微生物の働きを活性化すれば農薬を必要としなくなることを実践で知っているから
- 品種・系統・栽培期間を工夫することにより農薬を使用する必要がなくなることを知ったから
- 地球やまわりの環境に悪影響があることを知ったから
- 特に輪作を徹底しているので必要がない
- 特に忌避作物を混植し、対応しているので必要ない
- 病害虫を発生させない秘蔵の資材を活用しているから
- その他

（　　）

３、肥料について、化学肥料を使わない理由を下記の項目から選んでください。

- 化学肥料の使用で人や作物に多大な被害を出した経験から
- 作物・土壌に悪影響があると考えるから
- 本や文献で化学肥料の恐さを知ったから
- 化学肥料は大切な微生物を殺したり、すみ難くして生態系を壊すことを知ったため
- 作物を育てるのは、肥料ではなく地力であることを知ったから
- 化学肥料を入れると病害虫が発生しやすいことを知ったから。
- 化学肥料を使うと味が悪くなることを知ったから
- 良質な堆肥や有機肥料があるので化学肥料の必要を感じなくなったから
- 特に輪作を徹底し、地力の維持に努めているので必要ない
- 緑肥作物を活用しているので必要ない
- その他（　　）